

(3) 注意事項

① 調理について

- 揚げ油は定期的に交換していますが、同じフライヤーを使用しています。
- ゆで釜、ザル、菜箸は共用です。

② 料理の配置について

[おかずコーナー]

- ・大皿は隣り合っているため、隣の皿とトンゴが触れることもあります。
- ・メニューによってはアレルギー食材が隣り合っている場合もあります。



[アレルギー 28 品目の表記]

- ・おかずコーナーに明記されています

※アレルギー 28 品目

えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生
あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、
キウイ、牛肉、くるみ、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、
バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、
ゼラチン、アーモンド



『食堂メニュー』・『アレルギー調査票』は、当施設ホームページで確認できます。

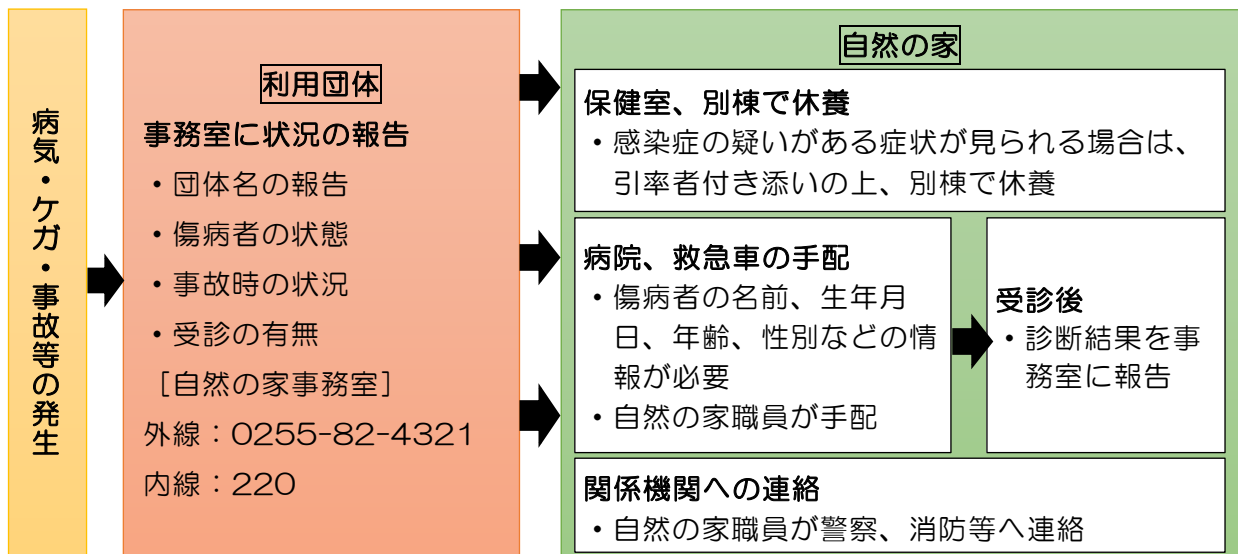
<https://myoko.niye.go.jp>

【トップページ → ご利用案内 → 食事について → 献立表】

問い合わせ先 【食堂直通】 TEL 0255-82-4185 FAX 0255-82-4186

2 傷病者の対応

(1) 対応の流れ



- 自然の家から病院までの交通手段は、団体緊急車両またはタクシーとなります。タクシーの手配は、自然の家事務室で承ります。料金は団体負担です。
- 病院には、必ず団体引率者が付き添ってください。
- 傷病者が現場から動けない等、事故現場の状況に応じて自然の家の職員の判断で救急搬送する場合があります。

例：オリエンテーリングコースや源流探険コース等の足場が悪い場所での事故

(2) 感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）の疑いがある場合

- 「(1) 対応の流れ」の通りに対応しながら、以下のことを徹底ください。

- ① その場から他の参加者を遠ざける。
- ② 嘔吐物の処理、消毒については自然の家職員が行う。
- ③ 部屋の換気を行う。

- 手洗い・うがいをしたり、マスクを着用したりして、感染拡大を防ぐよう、ご協力ください。
- 感染症が疑われる場合は、別室で宿泊していただきます。

(3) 保健室

- 自然の家事務室に保健室があります。体調不良、受診までの休養等にご利用いただけます。
- 冷蔵保存が必要な常備薬をお預かりできます。
- 氷枕や絆創膏等を用意しています。
- 車いす（2台）、松葉杖の貸出ができます。
- 利用時は必ず引率の方が付き添うようにしてください。



3 安全管理

(1) 施設における安全管理

- ① 宿泊棟からの避難経路を確認します。
- ② 貴重品の管理は、各団体でお願いします。コインロッカー等をご利用ください。
 - ・ 各宿泊棟リーダールームの金庫
※リーダールーム使用団体のみ
 - ・ 100円リターン式コインロッカー
※本館大浴場前、自然の家事務室前
- ③ 屋外での活動の際は、必ず宿泊棟入口の施錠をお願いします。
 - ・ 宿泊棟の鍵は、紛失防止のため、敷地外に出られる際は、自然の家事務室にお預けください。
- ④ 不審者・不審物を発見した場合、事務室に連絡をお願いします。
 - ・ 館内に、防犯カメラを設置しています。



(2) 野外活動における安全管理

[通年]

- 引率者は、必ず活動前に活動場所の下見をしてください。
- 屋外での活動場所の急な変更はできません。
 - ・ 気象、積雪状況等に応じ、活動内容・場所の変更をお願いする場合があります。
- 各活動の安全管理については、プログラムシートで確認してください。

[夏季]

- 熊、蜂、マダニ、ウルシ等の危険生物に対する注意喚起をしてください。
 - ・ オリエンテーリングコース等、森の中で活動する際は、単独で行動しないでください。
 - ・ 熊鈴を身に付けてください。（熊鈴は、自然の家にて貸出しています。）
 - ・ 森の中で活動する場合、長そで、長ズボンを着用してください。

[冬季]

- 屋根からの落雪、転落等危険箇所の確認をお願いします。
 - ・ ネットや竹竿が設置されています。
 - 出入り口付近の凍結、融雪による転倒に注意してください。
 - 屋内に入る際にウェア等に付着した雪を払い落としてください。
 - ・ 屋外の活動場所の急な変更はできません。（早朝に圧雪、点検を行うため。）
- ※ 気象条件や積雪状況によって、活動内容や活動場所の変更をお願いすることがあります。